

# Ohma World 製品マニュアル

(株) アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

## はじめに

マイクについて全くの初心者でも、マイクの取り扱いをおさらいしたい方でも、そしてOhma Microphoneを導入する前に下調べをしたい方でも、ご安心ください！

スペックや注意事項など、Ohma Microphoneのセットアップに必要な情報はすべてここにあります。このマニュアル内で不明な点があれば、ぜひお気軽にご相談下さい。一緒に音楽やレコーディングのオタクになりましょう！

## Ohma Microphoneについて

### Ohma Microphoneの始め方

1. はじめに、付属のマイククリップをOhma Microphoneの柄の部分にスライドして取り付けます。その後、接続先で+48Vファンタム電源がOFFになっていることを確認してから、マイクの柄の先端部分にあるバランスXLRコネクタと、インターフェイスもしくはプリアンプのXLR入力端子を繋げます。
2. スクリーンを選び、取り付けます。セットされたスクリーンが正しい位置に、マグネットでしっかりと固定されているかを確認してください。
3. マイクを接続したインターフェイスやプリアンプを操作して、+48Vファンタム電源をONにします。Ohma CondenserもOhma Ribbonも、どちらもファンタム電源が必要です。なおケーブルを抜く際は、必ずファンタム電源がOFFになっていることを確認してから抜いて下さい。
4. 60秒ほどこのまま放置して火入れを行い、マイクを立ち上げます。その後シグナルが正常に伝達されているかを確認し、希望の音量までレベルを上げます。

### Ohma Microphoneの前後について

XLRコネクタの穴がある方が裏側です。また下側のスクリーンを外した際にシリアルが記載されていれば、それは裏側です。付属のOhmaピックが分厚いピックを使い、スクリーンを外してシリアルを確認してみてください。

## Ohma Microphoneの同梱物

Ohma Microphoneはドロワーボックスに収納されて出荷されます。1.21mmのOhmaギターピックと、黒もしくは白のマイククリップが付属します。マイククリップの色は、そのマイクで使用されているファブリックの色と対応しています。カスタムオーダーでOhmaロゴスクリーンの代わりにパターンスクリーンを購入した場合は、箱内部のマイクの裏側に収納されています。

## Ohma Screen Setsについて

Ohma Worldの交換可能なスクリーンによって、マイクサウンドをユニークな方法でカスタマイズすることができます。前後のスクリーンをささっと変えるだけで、マイクのレスポンスやトーン全体が変化するのであります。

スクリーンをイメージするためのヒントとして、それぞれのサウンドの概要や使用例をご紹介します。一方で、部屋の状態やシグナルチェーンによってサウンドは大きく変化することを覚えておいてください。あくまでこれは参考としてお読みいただき、自由な実験をお楽しみください。

### Motif

Motifはスクリーンの中でもフラッグシップと言えるモデルで、ふくよかで質感のある、聞き心地の良いサウンドが特徴です。低域から高域までバランスが良く、存在感のあるサウンドを生み出します。

### Windows

Windowsスクリーンは、レンジが広く素直なサウンドが特徴のスクリーンです。そのニュートラルさゆえに、Ohma Microphonesのコンデンサーカプセルやリボンそのものが持つ、音楽的なサウンドを活かすことができます。ローエンドは存在感がありスムーズ、ハイエンドはナチュラルで開放感のあるサウンドと、好みの音色へとエディットを加える良い下地を作ることのできるスクリーンです。

### Stripes

Stripesスクリーンは中域のトーンをキャプチャーするのに最適なスクリーンで、強く前に出てくるような迫力のあるサウンドが特徴です。ギターアンプに最適で、またトランジェントをスナッピーに捉えるため、パーカッシブなサウンドや演奏にも適しています。

## Scales

Scalesスクリーンは、ブライトで心地よく伸びるトップエンドと抑えの効いたローエンドが特徴のスクリーンです。サウンドの高域/低域を程よく調整することで、例えばアコースティックギターのタッチのニュアンスを繊細に、ボディの豊かな鳴りも音楽的に捉えます。マイクサウンドの時点でブライトに音色を調整できるため、補正の苦勞を減らしてくれる頼りになるスクリーンでもあります。

## Holes

Holesスクリーンはよりナチュラルで明るく、空気感のあるサウンドのスクリーンです。控えめなローエンドとスムーズなトップエンドを持ち、明るいサウンドながら色付けが抑えられています。自然な低域のロールオフが近接効果をやわらげることで、オンマイクでもスムーズなトップエンドを演出することができます。

## スクリーンの交換方法

Ohma Microphoneのスクリーンは、製品に付属するギターピック1つで簡単に交換できます。ピックは厚いものであればなんでも大丈夫です。

スクリーンを外す際は、まずスクリーンの切り欠きにピックをできるだけ差し込んでください。その後、てこの原理の要領でスクリーンをピックで押し上げます。するとスクリーンがマグネットから離れるので、手でスクリーンを外してください。



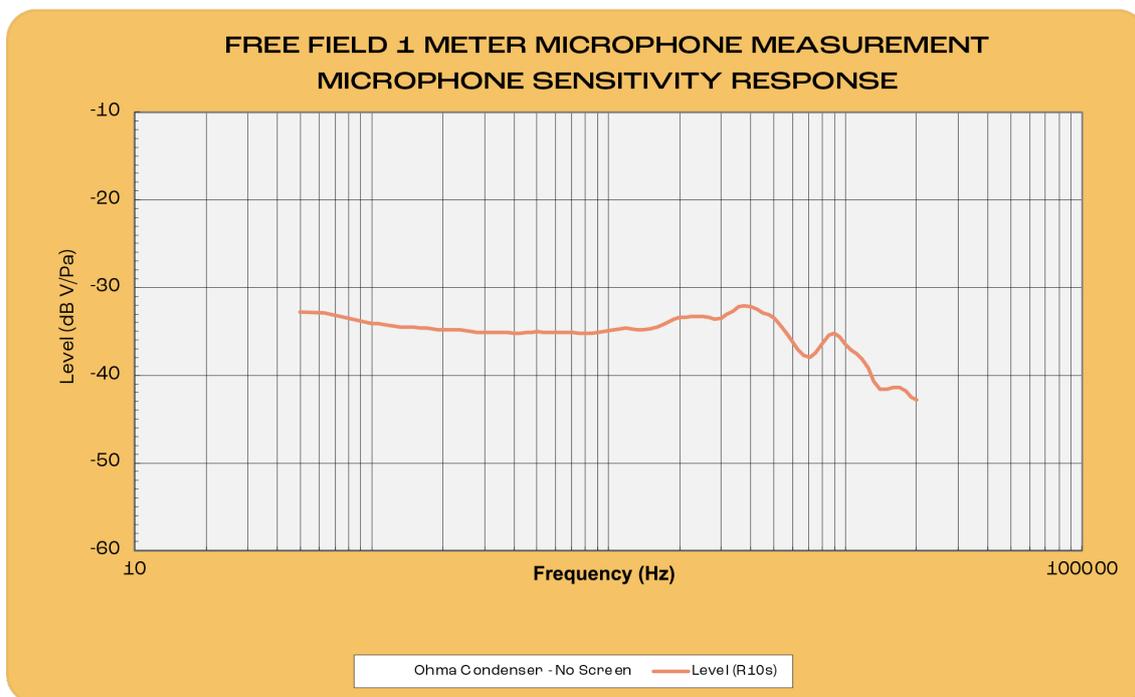
スクリーンを取り付ける際は、まずスクリーンの切り欠きがある一边を、スクリーン取り付け位置下側の一边に合わせます。その後、合わせた辺をずらさないようにスクリーンを本体に近づけ、取り付けます。「パチッ」とマグネットにくっつき、マイク本体とスクリーンが平面になるようにはまっていればOKです。

### \*注意

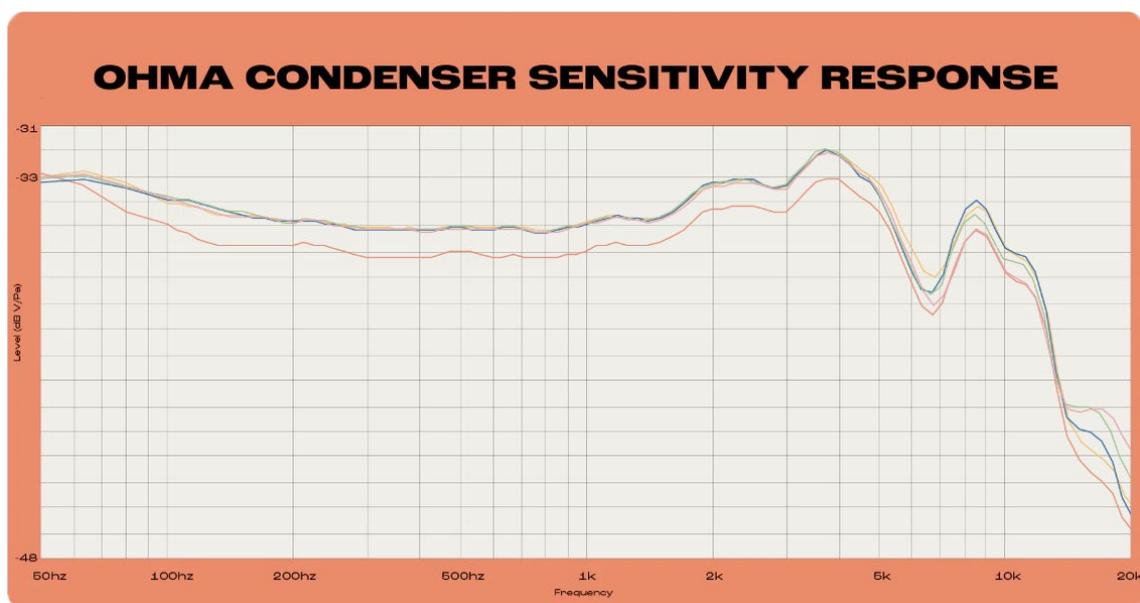
スクリーンを交換する際に、コンデンサーカプセルやリボンが露出します。カプセルやリボンは非常にデリケートです。安全に交換できるようにノッチは設計されていますが、キズが付かないように、スクリーンの向きに気を付けて交換をしてください。特にリボンは中に磁石が入っており、スクリーンがひきつけられることがあります。十分に注意してください。

## 周波数特性

- ・ Ohma Condenser (スクリーン無し)

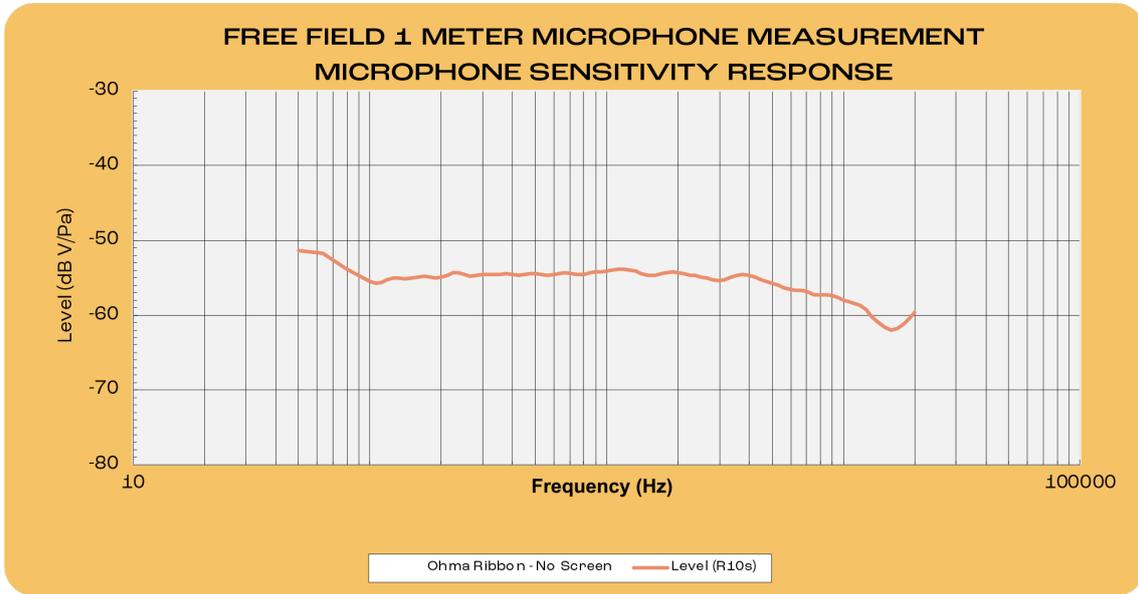


- ・ Ohma Condenser (スクリーンあり)

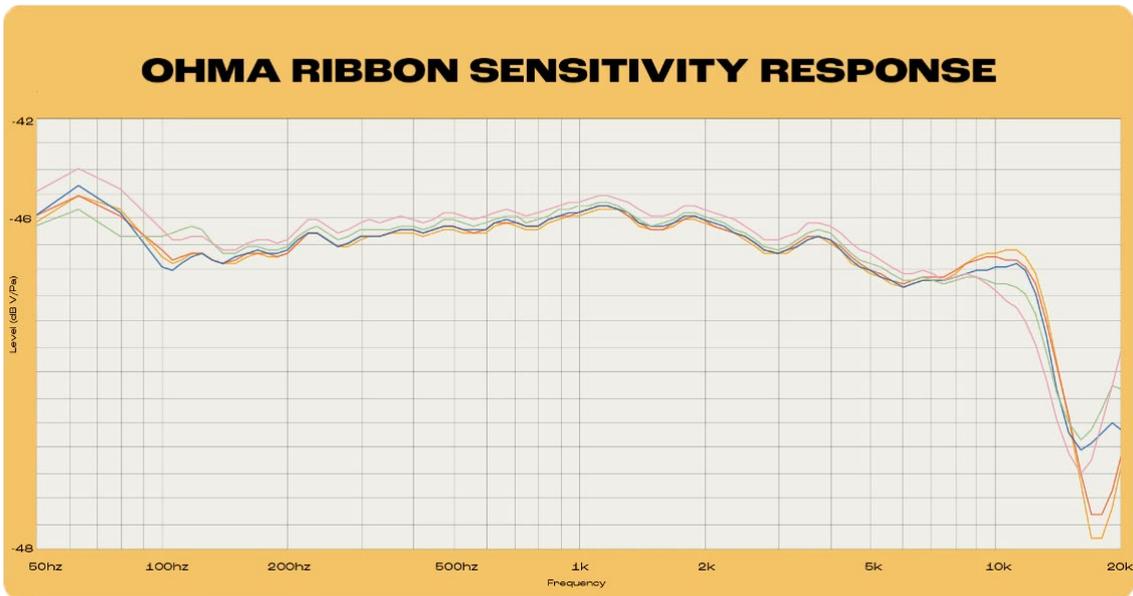


(黄 : Motif、ピンク : Windows、青 : Stripes、赤 : Scales 緑 : Holes)

- Ohma Ribbon (スクリーン無し)



- Ohma Ribbon (スクリーンあり)



(黄 : Motif、ピンク : Windows、青 : Stripes、赤 : Scales 緑 : Holes)

## 注意事項

おめでとうございます！あなたはついにマニュアルの「免責事項」や「やってはいけないこと」のパートまでたどり着きました。あなたのマイクをあなたがどう使うかは自由ですが、良いコンディションで、スペック通りに、また保証内でマイクを扱うために避けるべきことがいくつかあります。

- ・ファンタム電源がONのままプラグを抜き差ししないでください。
- ・スクリーンを交換する際は、必ずスピーカーやヘッドホン、もしくはマイクをミュートしてください。
- ・マイクからスクリーンが外れている状態の時は、内部へのダメージが無いように常に気を付けてください。
- ・使用していない時は必ずマイクをカバーして保管してください。不適切な方法で保管すると、ボディやリボンの磁石が細かい金属粉を集めてしまう場合があります。

また、もしあなたがラッキーなプラススクリーンのオーナーだった場合、処理されていない金属は時間がたつにつれて劣化していくことに注意して下さい。

## アップデートに関して

Ohma Microphoneのアップデートに関するサポートやお問い合わせは、国内代理店までお問い合わせ下さい。

## Ohma Worldについて

Ohma Worldにおける私たちのミッションは、自分自身のスタイルやサウンドの表現を可能にする、美しく機能的な製品を作り出すことです。私たちは見た目のために機能が犠牲になってはならないと信じており、また我々の製品もユーザーと同じようにユニークであるべきだという信念から、様々なカスタマイズ可能なオプションを提供します。

## 注意事項

Ohma Worldを設立する中で私たちに寄り添ってくれた全ての人に、心から感謝を申し上げます。このプロジェクトが実現するには、2019年からの皆さんのサポートが不可欠でした。特に、友人や家族たちの力強い励ましがなければ、このプロジェクトの成長はあり得ませんでした。

た。

加えて、ベータテスターの熱心なコミュニティにも感謝しております。皆さんの熱意は私たちにとってかけがえのない財産であり、皆さんのフィードバックは今日のOhma Worldを作り上げる上で大きな役割を果たしています。この旅に参加して下さったことに、心から感謝しています。